



アコースティックバンド「テノヒラ」のボーカル 愛南町出身の kiku さんがつづるふるさとエッセイ

— あいなん音故地新 —

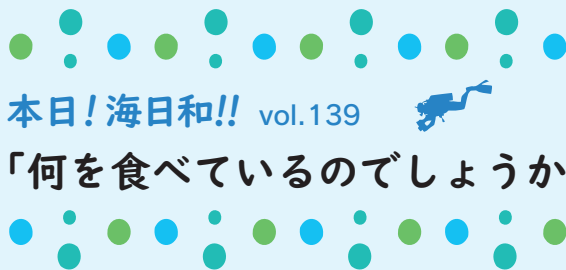
一日一点。

前回、自己投資の話をした。私がそれを知ったのは情けないことについて数年前の話。もっと早く知りたかったよ、なんで誰も教えてくれなかったん?!と仰いたくなるけど、知るきっかけはたくさんあった。絶対に。ただ私のアンテナがまったくそのことをキャッチしとらんかったんやろね。興味をもってないと見落とししたり聞き逃したりする。私は今、努めてアンテナを浅く広く張るようにしてる。

"点"も振り返ると"線"になる、って言うように、出合いやきっかけが後々大きな仕事につながったり新たな出会いを生んだりする。自分が得た小さな情報や知識も"点"で、これ面白そう、あれやってみたい、っていう興味から目標となり、夢となったりもする。私はとりあえず興味のあることは続こうが続かまいが、とりあえずやってみる。試してすぐに辞めたとしてもそのことから得た経験が、続けとる音楽、鍼灸、剣道に生かされたりしたから。アンテナ張ってたら足元は"点(チャンス)"だらけなんやと思う。一日一膳ならぬ、一日一点や。

それはさすがに多すぎか?!

(テノヒラkiku)



本日！海日和！！ vol.139

「何を食べているのでしょうか？」

6月4日は、語呂合わせから「虫歯予防デー」とされていたが、現在では6月4日～10日を「歯と口の健康週間」として、様々な取り組みがなされている。

魚の歯は、食べるエサによって形や大きさが異なっている。堅いサンゴを食べるブダイの仲間は、ペンチのような歯をしている。イワシには歯がなく、えらでプランクトンなどをこしとって食べている。人間は、何でも食べるので、切歯(前歯)、犬歯(糸切り歯)、臼歯(奥歯)と肉から野菜まで対応できる歯を備えている。歯の形を見ると、何を食べているのか推測できる。

では、写真のアカエソは何を食べているのだろうか。鋭い歯が何本も生えていて、噛みつかれたら大変なことになりそうだ。正解は小魚を食べている。



【アカエソの鋭い歯】

フィッシュ・イーターとも呼ばれる肉食魚で、捕まえた魚を逃がさない歯の形になっている。

今度魚を食べるときには、ぜひ歯の形を見てください。丸ごと煮た、煮魚がおすすめです。きっと自然の造形と歯の進化に感動するはずですよ。

(撮影地:弓立)

愛南サンゴを守る会 西尾知照 ともてる